

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 学校法人南星学園 サイ・テク・カレッジ那覇

1. 事業の趣旨・目的

沖縄県は数多くの多国籍人が居住する多文化共生の地域である。県国際交流推進課の調査によると（2009 年）県内に約9千人の外国人登録者がすんでいる。外に、5万人近い在沖駐留の米軍人・軍属・家族が居住している。

彼らの80%以上が言葉が通じないことで、地域参加、文化や習慣、育児、就職、医療、交通機関の利用に悩みを抱えている。反面、在留外国人の多くは、隣人との交流、地域イベント、奉仕活動、町内会活動への参加、沖縄の地域・文化を学びたい、母国語・文化を伝えたい、と希望している。

沖縄では、琉球王朝時代から受け継がれたものや琉球政府時代にもたらされたアメリカンスタイル、本土復帰後の食材の本土化など様々な食文化が形成されている。沖縄の代表的な食文化と生活習慣に根差した日本語を学ぶことで、日常生活の中での地域住民との意思疎通が図られることを目的とする。

また、沖縄県には独自の伝統行事があり、広く一般市民にも先祖代々受け継がれて来た風習がある。ごく普通に行われている伝統的な風習は、親族をはじめ地域社会の中では、特に重要なコミュニケーションの場である。多くの外国人が思い描く日本人の生活習慣と違う沖縄の風習を知り、そこに住む地域住民との交流が図られることを目的とした。

本講座の実施によって、外国人生活者の日本語学習を支援し、沖縄の生活と文化に根ざした日本語コミュニケーション能力を高め、外国人とも県民が共に安心して暮らせる地域づくりをサポートしたい。

2. 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
2011年 7月27日	サイ・テク・ カレッジ那覇	遠山 英一 仲尾次 嗣明 宮里 孝夫 當山 善堂	本事業内容について	①実施委員会規約について ②事業計画について ③カリキュラムについて

		高柳 清明 伊佐 善松 宮里 新子 入江 則光※ 中島 康夫※		④8月の講座の実施予定について ⑤運営委員への委嘱状の付与 ・各議題についての提案及び承認
2011年 8月24日	サイ・テク・ カレッジ那覇	遠山 英一 仲尾次 嗣明 宮里 孝夫 當山 善堂 高柳 清明 伊佐 善松 宮里 新子 入江 則光※ 中島 康夫※	①事業計画の変更について ②カリキュラムの変更について ③授業の進捗状況について	・事業期間の延長の申請について ・9月-12月のスケジュールの変更について

※コーディネーター



運営委員会

3. 日本語教室の開催について

- (1) 講座名 :「沖縄の食生活・食文化と日本語」、「沖縄の年中行事と日本語」
- (2) 開催場所 :「学校法人 南星学園サイ・テク・カレッジ那覇」
- (3) 学習目標 :沖縄の食文化と生活習慣に根差した日本語を学ぶことで、日常生活の中での地域住民との意思疎通が図られることを目的とする。
 - ① 基礎的な日本語学習を通して、日本語でのコミュニケーション能力を高める。
 - ② 身近な食材や料理に関する日本語を学ぶことによって、買い物や調理、外食など日常生活がよりスムーズに行えるようにする。
 - ③ 沖縄の年中行事について学び、独特の文化や風習を知ることによって、沖縄への理解をより深め、親近感を持ち、地域住民との交流を図れるようにする。

(4) 使用した教材・リソース

「共通教材」

- ・みんなの日本語 I
- ・日本語おしゃべりのたね
- ・あいうえお表
- ・その他、各講師作成資料

「沖縄の食生活・食文化と日本語」

- ・沖縄食材図鑑
- ・沖縄の食文化
- ・沖縄 暮らしのしきたり読本 家族まるごとお祝い福マニュアル

「沖縄の年中行事と日本語」

- ・はじめのいっぽー英語版
- ・沖縄の年中行事
- ・The Okinawa Program
- ・沖縄の水とその環境
- ・琉球舞踊のDVD

(5) 受講者の募集方法 ※添付資料参照

- ① 募集チラシ・ポスターを作成し、近隣市町村の国際交流団体等へ配布
- ② 那覇市役所住民課外国人登録係、宜野湾市役所市民課外国人登録係、北谷町役場住民課外国人登録係に講座開催の広報を依頼し、募集チラシ・ポスターを配布
- ③ 当校ホームページ掲載
- ④ 英字新聞へ広告掲載(有料)

(6) 受講者の総数 30 人

(出身・国籍別内訳 米国 14人、台湾 6人、インド 4人、ブラジル 2人、
オーストラリア 1人、カナダ 1人、フィリピン 1人、
シンガポール 1人)

(7) 開催時間数(回数) 120 時間 (全 40 回) (60時間(20回)×2)

(8) 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	受講者数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	8月1日 9:00~12:00	3時間	13人	米国・英語(4人) 台湾・中国語(4人) インド・英語(2人) ブラジル・ポルトガル語(1人) オーストラリア・英語(1人) カナダ・英語(1人)	教授者1人 補助者1人 通訳者1人	オリエンテーション 自己紹介 ひらがな、 カタカナ学習 みんなの日本語 I

2	8月2日 9:00~12:00	3時間	11人	米国・英語（4人） 台湾・中国語（3人） インド・英語（2人） オーストラリア・英語（1人） カナダ・英語（1人）	教授者1人 補助者1人	ひらがな、 カタカナ学習 みんなの日本語Ⅰ あいうえお表
3	8月3日 9:00~12:00	3時間	11人	米国・英語（4人） 台湾・中国語（3人） インド・英語（2人） ブラジル・ポルトガル語（1人） カナダ・英語（1人）	教授者1人 補助者1人	文法の基礎 日常会話の基礎 みんなの日本語Ⅰ おしゃべりの種
4	8月4日 9:00~12:00	3時間	10人	米国・英語（2人） 台湾・中国語（4人） インド・英語（2人） ブラジル・ポルトガル語（1人） カナダ・英語（1人）	教授者1人 補助者1人	ひらがな、 カタカナ学習 文の作り方 みんなの日本語Ⅰ おしゃべりの種
5	8月8日 9:00~12:00	3時間	8人	米国・英語（3人） 台湾・中国語（1人） インド・英語（2人） ブラジル・ポルトガル語（1人） カナダ・英語（1人）	教授者1人 補助者1人	基礎会話練習1 みんなの日本語Ⅰ おしゃべりの種
6	8月9日 9:00~12:00	3時間	9人	米国・英語（3人） 台湾・中国語（2人） インド・英語（2人） ブラジル・ポルトガル語（1人） カナダ・英語（1人）	教授者1人 補助者1人	基礎会話練習2 みんなの日本語Ⅰ おしゃべりの種
7	8月10日 9:00~12:00	3時間	9人	米国・英語（2人） 台湾・中国語（4人） インド・英語（2人） ブラジル・ポルトガル語（1人） オーストラリア・英語（1人） カナダ・英語（1人）	教授者1人 補助者1人	伝統行事と特別 料理 正月とお盆1 沖縄暮らしのしきたり読本 講師作成資料
8	8月11日 9:00~12:00	3時間	11人	米国・英語（3人） 台湾・中国語（3人） インド・英語（2人） ブラジル・ポルトガル語（1人）	教授者1人 補助者1人	伝統行事と特別 料理 正月とお盆2 沖縄暮らしのしきたり

				オーストラリア・英語（１人） カナダ・英語（１人）		り読本 講師作成資料
9	8月12日 9:00~12:00	3時間	11人	米国・英語（３人） 台湾・中国語（３人） インド・英語（２人） ブラジル・ポルトガル語（１） オーストラリア・英語（１人） カナダ・英語（１人）	教授者１人 補助者１人	毎日の食事 朝食・昼食・ 夕食 沖縄の食文化 講師作成資料
10	8月15日 9:00~12:00	3時間	11人	米国・英語（３人） 台湾・中国語（３人） インド・英語（２人） ブラジル・ポルトガル語（１） オーストラリア・英語（１人） カナダ・英語（１人）	教授者２人 補助者１人 通訳１人	食材 果物と野菜 沖縄食材図鑑 沖縄の食文化 スーパーのチラシ 講師作成資料
11	8月16日 9:00~12:00	3時間	10人	米国・英語（３人） 台湾・中国語（３人） インド・英語（２人） オーストラリア・英語（１人） カナダ・英語（１人）	教授者２人 補助者１人 通訳１人	食材 肉と魚 沖縄食材図鑑 沖縄の食文化 スーパーのチラシ 講師作成資料
12	8月17日 9:00~12:00	3時間	7人	米国・英語（２人） 台湾・中国語（２人） インド・英語（２人） カナダ・英語（１人）	教授者２人 補助者１人 通訳１人	テーブルマナー 食事の礼儀作法 と席順など 講師作成資料
13	8月18日 9:00~12:00	3時間	8人	米国・英語（２人） 台湾・中国語（１人） インド・英語（２人） ブラジル・ポルトガル語（１） オーストラリア・英語（１人） カナダ・英語（１人）	教授者１人 補助者１人	食と文化 沖縄の食生活と 歴史 沖縄の食文化 暮らしのしきたり読 本
14	8月19日 9:00~12:00	3時間	7人	米国・英語（２人） 台湾・中国語（３人） ブラジル・ポルトガル語（１） カナダ・英語（１人）	教授者１人 補助者１人	食と文化 沖縄料理の特徴 沖縄の食文化 講師作成資料
15	8月22日	3時間	8人	米国・英語（２人）	教授者２人	食と文化

	9:00~12:00			台湾・中国語（2人） インド・英語（2人） オーストラリア・英語（1人） カナダ・英語（1人）	補助者1人 通訳1人	沖縄の薬草1 講師作成資料
16	8月23日 9:00~12:00	3時間	9人	米国・英語（3人） 台湾・中国語（2人） インド・英語（2人） オーストラリア・英語（1人） カナダ・英語（1人）	教授者2人 補助者1人 通訳1人	食と文化 沖縄の薬草2 講師作成資料
17	8月24日 9:00~12:00	3時間	7人	米国・英語（2人） 台湾・中国語（2人） インド・英語（2人） ブラジル・ポルトガル語（1人）	教授者1人 補助者1人	食と文化 沖縄の伝統料理 と長寿 沖縄の食文化 講師作成資料
18	8月25日 9:00~12:00	3時間	6人	台湾・中国語（2人） インド・英語（2人） オーストラリア・英語（1人） カナダ・英語（1人）	教授者1人 補助者1人	活動 沖縄そば作り 体験 講師作成資料
19	8月26日 9:00~12:00	3時間	9人	米国・英語（2人） 台湾・中国語（2人） インド・英語（2人） ブラジル・ポルトガル語（1人） オーストラリア・英語（1人） カナダ・英語（1人）	教授者1人 補助者1人 引率者1人	活動 市場見学
20	8月29日 9:00~12:00 8月5日 の補講	3時間	11人	米国・英語（3人） 台湾・中国語（3人） インド・英語（2人） ブラジル・ポルトガル語（1人） オーストラリア・英語（1人） カナダ・英語（1人）	教授者1人 補助者1人	文の構成・組立 て方 みんなの日本語Ⅰ おしゃべりの種
21	9月3日 9:00~12:00	3時間	17人	米国・英語（11人） 台湾・中国語（2人） インド・英語（1人） フィリピン・タガログ語（1人） ブラジル人・ポルトガル語 （1人）	教授者1人 補助者1人 通訳者1人	オリエンテーシ ョン 自己紹介 ひらがな、 カタカナ学習 みんなの日本語Ⅰ

				シンガポール・英語（１人）		
22	9月10日 9:00~12:00	3時間	15人	米国・英語（１０人） 台湾・中国語（２人） インド・英語（１人） フィリピン・タガログ語（１人） ブラジル人・ポルトガル語（１人）	教授者１人 補助者１人	ひらがな、 カタカナ学習 みんなの日本語Ⅰ あいうえお表
23	9月17日 9:00~12:00	3時間	13人	米国・英語（１０人） 台湾・中国語（１人） インド・英語（１人） ブラジル人・ポルトガル語（１人）	教授者１人 補助者１人	文法の基礎 動詞と活用形 ～します／ ～しました みんなの日本語Ⅰ おしゃべりの種
24	9月24日 9:00~12:00	3時間	14人	米国・英語（９人） 台湾・中国語（１人） インド・英語（１人） フィリピン・タガログ語（１人） ブラジル人・ポルトガル語（１人） シンガポール・英語（１人）	教授者１人 補助者１人	文法の基礎 形容詞 みんなの日本語Ⅰ おしゃべりの種
25	9月27日 9:00~12:00	3時間	14人	米国・英語（９人） 台湾・中国語（１人） インド・英語（１人） フィリピン・タガログ語（１人） ブラジル人・ポルトガル語（１人） シンガポール・英語（１人）		文の作り方 こそあど言葉 質問文の作り方 みんなの日本語Ⅰ おしゃべりの種
26	9月28日 9:00~12:00	3時間	12人	米国・英語（８人） 台湾・中国語（２人） フィリピン・タガログ語（１人） ブラジル人・ポルトガル語（１人）	教授者１人 補助者１人	文の作り方 います／あります みんなの日本語Ⅰ おしゃべりの種
27	9月29日 9:00~12:00	3時間	9人	米国・英語（９人） 台湾・中国語（２人） インド・英語（１人） フィリピン・タガログ語（１人）	教授者１人 補助者１人	日本語の構造 ～してください ／～してもいい ですか

				ブラジル人・ポルトガル語 (1人) シンガポール・英語(1人)		みんなの日本語Ⅰ おしゃべりの種
28	9月30日 9:00~12:00	3時間	9人	米国・英語(5人) 台湾・中国語(1人) フィリピン・タガログ語(1人) ブラジル人・ポルトガル語 (1人)	教授者1人 補助者1人	日本語の構造 好きです／きらいです みんなの日本語Ⅰ おしゃべりの種
29	10月1日 9:00~12:00	3時間	12人	米国・英語(8人) 台湾・中国語(1人) インド・英語(1人) ブラジル人・ポルトガル語 (1人) シンガポール・英語(1人)	教授者2人 補助者1人 通訳1人	沖縄の気候 The Okinawa Program 沖縄の水と環境 講師作成資料
30	10月8日 9:00~12:00	3時間	13人	米国・英語(7人) 台湾・中国語(2人) インド・英語(1人) フィリピン・タガログ語(1人) ブラジル人・ポルトガル語 (1人) シンガポール・英語(1人)	教授者2人 補助者1人 通訳1人	沖縄の環境・自然 The Okinawa Program 沖縄の水と環境 講師作成資料
31	10月15日 9:00~12:00	3時間	14人	米国・英語(9人) 台湾・中国語(2人) インド・英語(1人) ブラジル人・ポルトガル語 (1人) シンガポール・英語(1人)	教授者2人 補助者1人 通訳1人	沖縄の自然と行事との関係性 The Okinawa Program 沖縄の水と環境 講師作成資料
32	10月22日 9:00~12:00	3時間	15人	米国・英語(9人) 台湾・中国語(2人) インド・英語(1人) フィリピン・タガログ語(1人) ブラジル人・ポルトガル語 (1人) シンガポール・英語(1人)	教授者2人 補助者1人 通訳1人	三線の日 沖縄の伝統芸能 パフォーマンス 講師作成資料
33	10月29日	3時間	13人	米国・英語(7人)	教授者2人	沖縄の自然と年

	9:00~12:00			台湾・中国語（2人） インド・英語（1人） フィリピン・タガログ語（1人） ブラジル人・ポルトガル語（1人） シンガポール・英語（1人）	補助者1人 通訳1人	中行事 としびー（生 年祝い） 沖縄の年中行事 講師作成資料
34	11月5日 9:00~12:00	3時間	13人	米国・英語（9人） 台湾・中国語（2人） インド・英語（1人） ブラジル人・ポルトガル語（1人）	教授者1人 補助者1人	沖縄の自然と年中行事 正月・旧正・ムーチー 沖縄の年中行事 講師作成資料
35	11月12日 9:00~12:00	3時間	12人	米国・英語（8人） 台湾・中国語（2人） インド・英語（1人） フィリピン・タガログ語（1人）	教授者1人 補助者1人	沖縄の自然と年中行事 清明祭・ゴールデンウィーク・ハーリー 沖縄の年中行事 講師作成資料
36	11月19日 9:00~12:00	3時間	14人	米国・英語（9人） 台湾・中国語（2人） フィリピン・タガログ語（1人） ブラジル人・ポルトガル語（1人） シンガポール・英語（1人）	教授者2人 補助者1人 通訳1人	沖縄の自然と年中行事 慰霊の日・お盆 沖縄の年中行事 講師作成資料 講師作成資料
37	11月26日 9:00~12:00	3時間	15人	米国・英語（9人） 台湾・中国語（2人） インド・英語（1人） フィリピン・タガログ語（1人） ブラジル人・ポルトガル語（1人） シンガポール・英語（1人）	教授者2人 補助者1人 通訳1人	沖縄の自然と年中行事 十五夜・那覇大綱引き・敬老の日 沖縄の年中行事 講師作成資料
38	12月3日 9:00~12:00	3時間	13人	米国・英語（8人） 台湾・中国語（1人） インド・英語（1人） フィリピン・タガログ語（1人） ブラジル人・ポルトガル語	教授者1人 補助者1人	沖縄の自然と年中行事 七五三・文化の日・冬至 沖縄の年中行事

				(1人) シンガポール・英語(1人)		講師作成資料
39	12月10日 9:00~12:00	3時間	15人	米国・英語(9人) 台湾・中国語(2人) インド・英語(1人) フィリピン・タガログ語(1人) ブラジル人・ポルトガル語 (1人) シンガポール・英語(1人)	教授者1人 補助者1人	沖縄の自然と年中行事 成人式 いろいろな祭りごと 沖縄の年中行事 講師作成資料
40	12月17日 9:00~12:00	3時間	14人	米国・英語(9人) 台湾・中国語(2人) インド・英語(1人) フィリピン・タガログ語(1人) シンガポール・英語(1人)	教授者1人 補助者1人	活動 ポットラックパーティー 日本語のみで会話

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

○ 8月25日(第18回) テーマ:沖縄そば作り体験

・沖縄料理の代表的なものとしてよく知られており、外国人にも食べやすい物として、沖縄そばを実際に作ってみた。作業の指示は全て日本語で行われた。麺づくりからするという、本格的な取り組みであったが、毎日ナンを手作りしているというインド人学習者や餃子を手作りするという台湾人学習者もいて、作業は思いの外スムーズに行われた。スープは市販のものを使ったが、ヒンドゥー教の学習者が一人いて、豚出汁のスープを食べることができなかった。別にかつお出汁のスープを用意した。出来上がりは若干麺がのびてしまったが、みな、おいしいと好評であった。また、家でも作りたいとの要望があったので、日本語でレシピを書き写させた。

○ 8月26日(第19回) テーマ:市場見学

・沖縄独特の食材や食文化への理解を深めるために、那覇公設市場へ見学へ行った。参加者の多くは既に何回か来たことがあるということだったが、今回は説明する講師が同行しているので、陳列されている食材や商品についての質問が多く聞かれた。また、授業で覚えた日本語を使って、買い物やお店の人との会話を試みるなど、実践的な成果を確認できた。



沖縄そば作り体験



市場体験ツアー

○ 12月17日(第40回) テーマ:ポットラックパーティ

・内容的に、会話の練習やロールプレイングをすることが少ない授業が続いたので、会話の実践ということで、「日本語のみで会話をする」というルールを決めたポットラックパーティを開催し、会話の練習を図った。各自、一品料理を持参してもらったが、インド、南米、フィリピン、アメリカ、日本と、実に国際的な料理が並んだ。特に「たこ焼き器」を準備し、日本語でたこやきの作り方を説明しながら、みんなで一緒に作ったのが好評だった。

好きな料理を質問しあう、「質問ゲーム」の用紙も配布し、できるだけ日本語で会話をするよう促した。



好評だった、たこ焼き

4. 事業に対する評価について

(1) 当初の学習目標の達成状況

「沖縄の食生活・食文化と日本語」

一般的な日本語講座とは違い、『沖縄の食文化と生活習慣に根差した日本語を学ぶ』ことにより、日常生活の中での地域住民とコミュニケーションが円滑に行われるようになるという特化した目標にあわせて、授業の内容も、ひらがな・カタカナの学習、基礎的な日常会話だけでなく、スーパーのチラシや図鑑等の資料を多用し、食材や料理の名前を紹介する授業や、沖縄の食に関する文化や歴史の授業を行った。プリント資料の他に、パワーポイントやビデオを使用した授業や沖縄そば作りや市場見学の体験授業も取り入れたことによって、より実践的な日本語学習ができた。

「沖縄の年中行事と日本語」

従来の日本語講座ではあまり教えることのない、『沖縄の自然と年間行事』にスポットをあてて授業を行い、沖縄での生活にもっと興味を持ってもらい、地域住民とコミュニケーションの促進を図った。

授業の内容も、ひらがな・カタカナの学習、基礎的な日常会話だけでなく、沖縄の自然や年中行事に関する知識や情報を紹介した。写真やプリント資料の他に、パワーポイントやビデオを使用した授業や三線や琉球舞踊の名手によるパフォーマンスを取り入れた多様な日本語学習を行った。

(2) 学習者の習得状況

「沖縄の食生活・食文化と日本語」、「沖縄の年中行事と日本語」

①当初の学習者の日本語のレベルは、全くの初心者もいれば、会話は可能だが読み書きができないという人まで、差がかなりあり、教授者を悩ますこともあった。しかし、講座の前半に日本語の基礎学習を行うことでレベルの差を少なくした。

②補助者や通訳者のサポートもあり、毎回の授業において、一人一人のレベルに合うような説明や細やかな指導ができ、学習者からも分かりやすいとの意見が多くあった。それにより、習得度も大きく伸びたことと思われる。

(3) 日本語教室設置運営の効果、成果

①講師だけでなく、有識者による講義、それに係る通訳や補助者など、多くのサポートによる授業を行ったことにより、学習者の理解度や習得度がかなり上がった。

②食に関する事項は大変身近なことでありながら、一般的な日本語の授業で詳しく学ぶ機会は少なく、そういった意味で、今回の講座は学習者から、「とても役に立った。」、「分からなくて困っていたから助かった。」等の意見があり、大変効果的な講座であったといえよう。

③沖縄には独特の年中行事が沢山あるにも関わらず、それを詳しく紹介する機会はなかなかないので、「これからもっと行事を楽しめそう。」、「いろいろな行事に参加してみたい。」等の意見があり、大変効果的であった。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

①各近隣市町村の市役所や役場、各地域の国際交流団体へのチラシ配布などの募集活動を行ったため、そこに寄せられる日本語教室への問合せや要望を通し、新たな連携や協力体制を築くことができた。できれば、今後も日本語教室を継続することによって、その関係も維持できるようにしたい。

(5) 改善点, 今後の課題について

① 現状

- ・学習者の日本語能力のレベルの差がかなりある。
- ・開講時期が夏休み期間ということもあり、特に主婦の受講希望者が受講を断念したり、途中から出席出来なくなるということがあった。
- ・毎週土曜日の午前に開講したが、夜間にしてほしいとの声もあった。

② 今後の課題

- ・初級と中級というように、レベル別にクラスを設置することを検討したい。
- ・開講時期をもっと熟考し、受講希望者が集まりやすい時期を選定することが必要である。
- ・本講座の終了後に、さらに日本語学習を継続したい学習者の受け皿を確保するために、地域の国際交流団体との連携・交流を深めていきたい。

③ 今後の活動予定, 展望

- ・本講座の修了者から、継続して開講してほしいとの声が多数あったので、今回の活動を活かして、これからも沖縄の文化や生活に密着したテーマを持つ、日本語講座の開講を検討したい。